

令和4年度 学校教育目標等について

1 学校教育目標

「チャレンジ」と「関わり」を楽しみ、よりよく生きる人を育てる

※「よりよく生きる人」とは、社会との関わりの中で自己実現できる人

- ・日々の生活にやりがいを感じながら主体的に取り組み、達成感を味わうことで自己肯定感を高めていく【自分】
- ・人、物、事との関わりを楽しみ、ルールを守ったり役割を果たしたりしながら社会の一員としての自覚をもって生活する【社会】

2 めざす児童生徒像

- (1) 明るく挨拶し 元気に活動する人(いのち) 明朗 健康
- (2) 自ら考え 進んでチャレンジする人(まなび) 主体性 意欲
- (3) 思いを伝え合い 仲間と協力する人(つながり) コミュニケーション 社会性

3 めざす学校像

- (1) 児童生徒にとって 毎日来るのが楽しみな学校
- (2) 保護者にとって 安心して任せられる学校
- (3) 地域にとって 信頼して相談できる学校
- (4) 教職員にとって 働きやすく働きがいのある学校

4 めざす教師像

高い同僚性のもと、専門性を磨き合い、児童生徒の成長を追求し続ける教師

5 経営の方針 「チーム楯特でチャレンジ！」

- (1) 児童生徒が楽しく元気に学ぶことができるよう、安心・安全な学校をつくる。
- (2) 児童生徒が成長の実感を味わいながら自立と社会参加の力を高めることができるよう、適切な教育課程の中で個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行う。
- (3) 家庭・地域生活の充実や望ましい進路選択につながるよう、家庭・地域と十分に連携する開かれた学校・信頼される学校をつくる。
- (4) 卒業後の自立と社会参加につながるよう、小中高一貫した切れ目ない指導・支援を行う。
- (5) よりよい支援を導くことができるよう、同僚性を発揮し、全職員一丸となって教育活動を推進する。
- (6) 地域における特別支援教育の推進に貢献できるよう、幅広い専門性に基づくセンター的機能の充実を図る。
- (7) 教職員一人一人が十分に力を発揮できるよう、働きやすい職場づくりを推進する。

6 今年度の重点

(1) 一人一人に応じた指導・支援の充実

- ① 将来の生活に生きる学習内容の設定と「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用した「評価→改善」の見える指導・支援
- ② 主体的な学びにつながる「楽しさ」「必要感」「達成感」を大切にした授業づくり
- ③ 新たな気付きや意欲を促し、学んだことを様々な場面に活用する力を育むカリキュラムマネジメントの視点を生かした授業改善

- ④ 小中高一貫したキャリア教育計画に基づく勤労観・職業観の育成
- ⑤ 学ぶ力を高めるICT機器等の効果的な活用
- ⑥ 障がいの重度・重複化、多様化に適切に対応する専門性の向上

(2) 保護者及び地域との連携の充実

- ① おたよりやHP等を活用した積極的かつ効果的な情報発信
- ② 「進路だより」「進路の手引き」の充実とニーズを捉えた進路情報の提供
- ③ 保護者や関係機関との綿密な連携に基づく家庭支援や進路支援の充実
- ④ 北村山・西村山地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

(3) 安心・安全な学校づくり

- ① 適切なコロナウイルス感染症対策による教育活動の安全と充実
- ② 避難訓練等の安全教育の充実や保護者・関係機関と連携した安全体制づくり
- ③ 様々なリスクを予防する教職員間の日常的な情報共有と綿密な連携
- ④ 働き方改革の推進と教職員が安心して力を発揮できる職場づくり
- ⑤ OJTの推進など学校機能を維持・向上するための計画的な人材育成

■県立楯岡特別支援学校の経緯

年度	内 容
平成20年度	山形県立村山特別支援学校分校(楯岡校)として開校(小学部、中学部、高等部)
平成25年度	山形県立楯岡特別支援学校として本校化、小学部棟増築
平成26年度	分校(寒河江校:小学部)開校(寒河江市立高松小学校内に設置)
平成27年度	分校(大江校:中学部・高等部)開校(旧大江町立三郷小学校校舎を利用)、本校体育館及び室内プール整備
平成28年度	大江校スクールバス配備、本校グラウンド整備
平成29年度	東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校認証
平成30年度	創立5周年記念式

